



学校だより

令和6年度
大津市立青山小学校
発行日 R6. 4. 9
児童数 780名

今年度は、満開の桜に見守られながら、春爛漫のワクワクする気持ちでのスタートとなりました。今年も引き続き校長を務めます、小野澤でございます。青山小学校では3年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。

昨日、102名の新入学児童を迎え、全校児童780名、28学級で令和6年度の青山小学校が船出しました。

1年生児童は入学の喜びを胸に、また2年生以上の児童は進級を契機に新たな気持ちでがんばろうと登校初日を迎えたことと思います。



令和6年度学校経営計画より

【学校教育目標】

自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動をおこす子どもの育成

【重点目標】

- 人とのつながりを大切に行動できる子
- 自分も、友だちも大事に思って行動できる子
- 自分を高め、みんなのために行動できる子



【めざす学校像】

あいさつのあふれる学校 明日も登校したい学校

青山小学校の子どもたちは、一人ひとりが限らない可能性を持っています。何かにチャレンジする前に「失敗したらどうしよう」と二の足を踏んだり、自分の気持ちを上手く説明できずに泣き寝入りするといったひ弱さも感じられます。そんな状況を改善するために、学級や学校全体が「支持的な風土のある集団」を育てたいと考えています。

「支持的な風土」とは、一言でいうと相手を受け入れる環境だといえます。他者を認め助け合う。失敗しても大丈夫と思える。個々の考えが尊重される。そんな集団の中にいれば、心理的安全性が確保され、ストレスの少ない生活が送れます。自尊感情や自己肯定感も高まっていくはずで

す。そんな集団を育むために、今年は話し合い活動を大切にするよう職員に指示をしました。話し合う中で、「友だちの話をじっくり聞く」「自分の考えを最後まで伝える」「反対意見で他者の意見をつぶすのではなく、他者の意見を認めつつ更に良い意見を生み出す」などの取り組みを進めます。このような取り組みは、「いじめを生まない風土づくり」という積極的な生徒指導にもつながっていきと考えています。

校 長	小野澤稔香	教 頭	森本 浩介	教務主任	
生徒指導		子ども支援・教育相談		特別支援コーディネーター	
専科指導			教 務		
小中連携加配		初任者拠点校指導		初任者後補充	
養護教諭			事務職員		
特支多人数がアウト				用 務 員	
学校生活支援員					

【学級担任】

	1組	2組	3組	4組	5組
たんぼぼ					
1年生					
2年生					
3年生					
4年生					
5年生					
6年生					

たくましく育てほしい！

先ほど「ひ弱さ」と書かせていただきました。本校での2年の勤務を経て、子どもたちが守られ過ぎていると感じています。例えば、登下校。班登校が無くなっていったことで、車で送迎してもらい児童が増えました。（本校は、基本的に車での送迎を認めてはおりません。足を怪我した、心身の状況でといった特別な事情がある場合はご相談ください。）雨に降られる・寒さや暑さに耐える・友だちとトラブルになるなど、子どもにとってストレスな状況も、実は貴重な経験の場なのです。苦勞することで、対処法を学んだり耐性を身につけたりと、その後の生活にプラスになることがあるはずです。

友だちとのトラブルは、子どものうちにたくさん経験することが大切です。迷惑をかけられることもあれば、迷惑をかけてしまうこともあります。学校では、トラブルの芽が大きくなりたくないよう、しっかりと見守り、サポートさせていただきます。そして、時間をかけて話を聞き、「何が嫌だったか」「相手にどうしてほしいか」「自分の悪かった所はどこか」じっくりと考えさせます。そうやって、トラブルの解決方法を身につけていってもらいます。

学校が見逃しているトラブル・気になる事があれば、遠慮なくご相談ください。

近年、トラブルが起きると「あの子とは付き合わない方がいい」「あのお子さんとは違うクラスにしてください」など、切り離すことが解決方法だと考える方がおられます。果たしてそうでしょうか。子どもたちの力を信じてください。きっと自分の力で解決方法を見つけ、乗り越えます。安易に切り離すことで、その経験の場を奪わないでやってください。子どもたちを真ん中に私たち大人が力を合わせて、たくましい青山っ子を育てていきましょう。

文責 校長